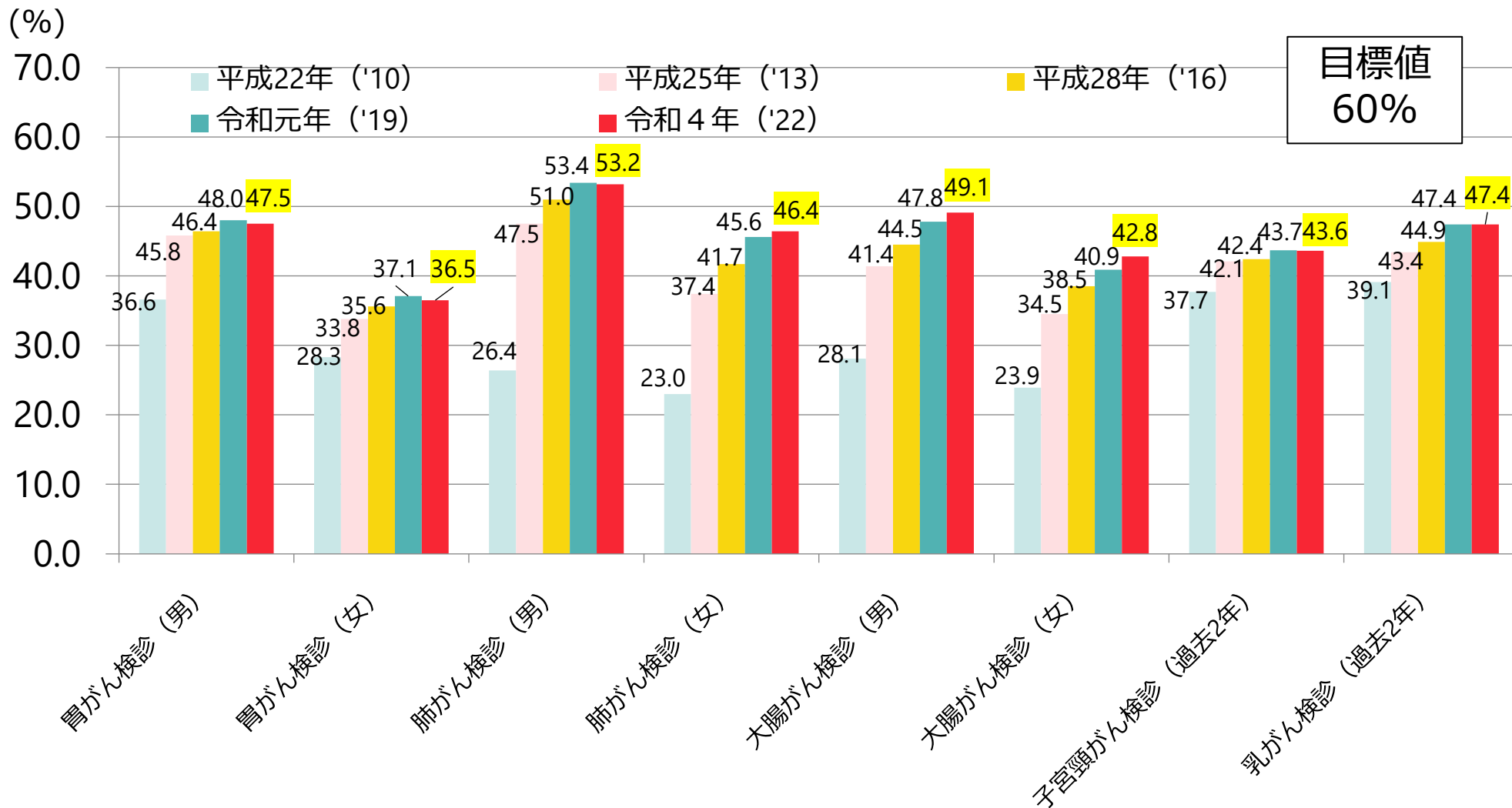


がん検診の受診率の推移



- 胃がん、肺がん、乳がん、大腸がんは40歳～69歳、子宮がん(子宮頸がん)は20歳～69歳。
- 健診等(健康診断、健康診査及び人間ドック)の中で受診したものも含む。
- 平成28年調査は、熊本県を除いたデータである。

出典：2022年国民生活基礎調査

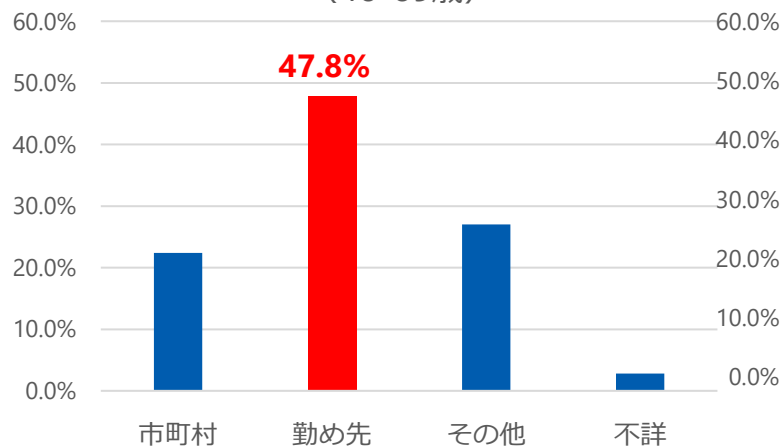
がん検診の受診機会について

令和5年8月9日（水）

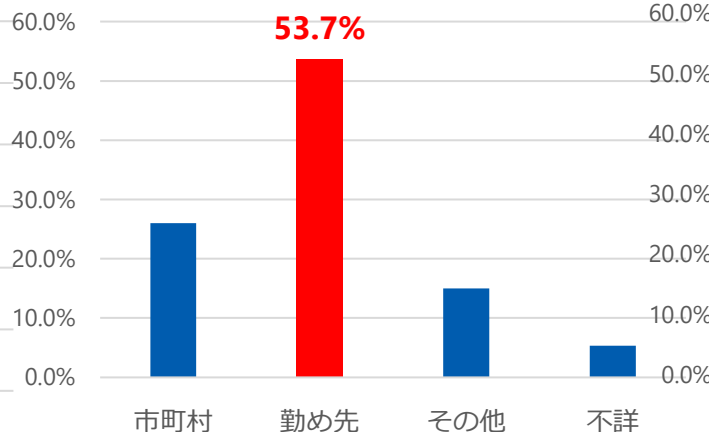
- がん検診受診者の約3～5割が、職域でがん検診を受診している。

胃がん検診を受けた（過去2年）

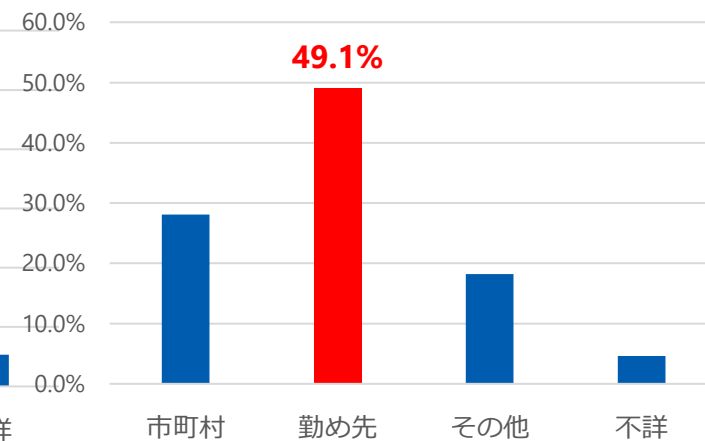
(40-69歳)



肺がん検診を受けた（40-69歳）

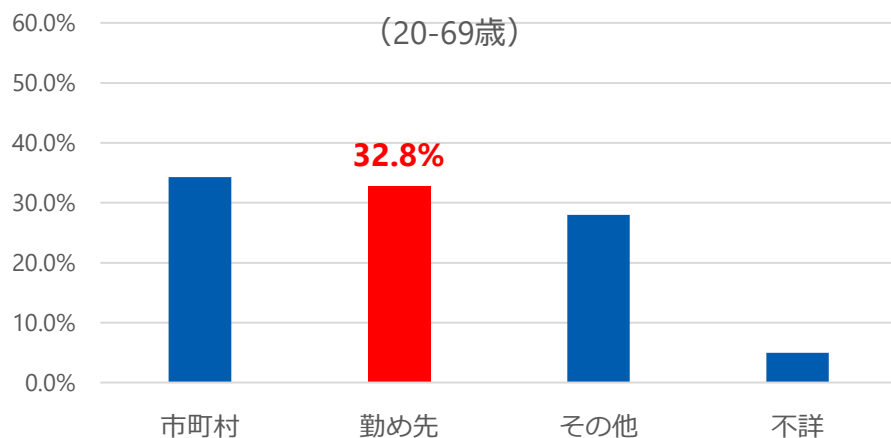


大腸がん検診を受けた（40-69歳）



子宮頸がん検診を受けた（過去2年）

(20-69歳)



乳がん検診を受けた（過去2年）

(40-69歳)

